

議会だより



なかさつない



「まちづくりについて提案します！」（中学校3年生による『模擬議会』） ※関連記事 p.7

12月定例会

条例の改正、指定管理者の指定、補正予算 P 2～4

一般質問 ～3人の議員が登壇～ P 5～6

第4回・第5回臨時会、Topic! 表紙の人 P 7

委員会活動、議員のひとこと P 8

令和2年12月村議会定例会

中札内村議会12月定例会は、12月3日に召集され、会期を10日までの8日間と決定し、初日は、報告1件・議案20件を原案どおり可決しました。また、最終日の10日には、追加提案となった議案3件を原案どおり可決しました。なお、一般質問は3人の議員が行い閉会しました。

条例制定

◆中札内村議会議員及び中札内村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

公職選挙法の一部改正を受け、運動用の自動車・ビラ・ポスターについて、選挙運動費用として一部を公費負担するための条例を制定し、令和2年12月12日から施行するもの。

問 ビラの作成費用が一枚7,510円と少額だが、単価の根拠は。

答 国から示された基準額で、独自に変更はできない。



条例改正

◆財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正

行政財産である「道の駅」に、災害時の避難支援のため、貯留弁付きマンホールや緊急貯留槽が、開発局において設置されることとなり、普通財産同様に行政財産の貸付が可能となる一部改正を行うもの。

◆中札内村延滞金徴収条例の一部改正

◆中札内村後期高齢者医療に関する条例の一部改正

◆中札内村介護保険条例の一部改正

租税特別措置法・地方税法の改正に伴い、特別基準割合を延滞金特例基準割合に名称変更し、短期貸付の平均利率を定める期間が1カ月、財務大臣が告示した割合を示す時期も1カ月ほど前倒しとなることにより、延滞金の利率が変動することと、計算結果により年0.1%未満であっても、年0.1%となる一部改正を行い、令和3年1月1日から施行するもの。

◆中札内村立診療所条例の一部改正

村立診療所が、翌年度から指定管理者へ移行することに伴い、診療科目の変更、病床廃止に係る定員、利用料金の設定・変更、診察日と診療時間変更などの条項について、削除・追加等の一部改正を行い、令和3年4月1日から施行するもの。

◆国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、個人所得課税の所得控除額を33万円から43万円に引き上げ、7割軽減の判定所得に、給与収入額及び公的年金等収入のある方が、世帯の中に複数いる場合は、その人数から1人を差し引いた人数に、10万円を乗じて加算した額をプラスする判定区分の新設と、課税特例として、65歳以上の軽減判定の規定に、15万円の控除に加え、公的年金等収入が125万円を超える方が対象となる一部改正を行うもの。

工事請負契約の変更

◆新庁舎外構整備工事に関する工事請負契約の変更について

6月定例会において議決した新庁舎外構整備工事について、工事施工を進める中で当初設計と現場での不一致があったことから、設計内容並びに契約金額を6138万円から6532万9000円に変更するもの。

変更の理由は、外構の一部で軟弱地盤が発見されたため路盤材による置換工法の実施と、工事早期完了と住民の危険回避を目的とした敷き鉄板の敷設、開庁時の事故防止と安全対策を目的とした仮設バリケードを設置するため。



新庁舎外構工事の敷き鉄板敷設現場

指定管理者の指定

指定管理者を指定するため、地方自治法の規定により議会の議決を要するもの。

施設名	指定管理者	指定期間
中札内村立診療所	医療法人 北海道家庭医療学センター	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
中札内村中島農業センター	中島農業センター 運営委員会	
中札内村カントリープラザ	中札内村観光協会	
中札内村開拓記念館		
中札内村豆資料館		
中札内村地域集会所	中札内村地域集会所 つどいの家運営委員会	
札内川園地南札内溪谷	株式会社A O I L O 山岳センター	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日
中札内村日高山脈		

■札内川園地南札内溪谷に関して

問 新たにキャンプサイトの使用料を徴収するようだが、使用料は指定管理者の収入とするのか。その場合の指定管理料はどうなるのか。

答 管理者の収入とし、収入予定額を上回る場合は、指定管理料は減額することとなる。

問 修繕や燃料費等で、残額が出た場合の管理費はどうなるのか。

答 年度末に清算し、残額は戻入してもらおう。
提言 村と指定管理者の十分な連携により、成功させる最大限の努力を要望する。

補正予算

※主なものを掲載

歳出 減額補正

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントや各種事業等が中止となった主なものを掲載

○議会費（費用弁償）

△68万8千円

○総務管理費（川越市中学生交流事業交付金）

△72万円

○総務管理費（特別定額給付金）
※給付事業費の確定により

△230万円

○社会福祉費（敬老会食糧費）

△65万円

○保健衛生費（健康メニュー開発委託）

△185万7千円

○商工振興費（緊急事態措置休業要請支援金）

※支援金支給額の確定により

△320万円

○教育総務費（普通旅費）

△86万8千円

○教育総務費

※青少年国際交流派遣研修事業関係

（費用弁償）

△53万円

（普通旅費）

△53万円

○事業補助金）
△350万円

○社会教育費（南砺市小学生自然体験交流交付金）△45万円

総務管理費

新庁舎建設工事 584万1千円

建設中の新庁舎南東側角地に発見された軟弱地盤層の撤去及び早期の工事完了に向けた対策による設計変更のため増額するもの。

まちづくり推進費

食糧費 135万円
運搬費 65万4千円

三つのふるさと会の交流会中止や開催が見通せない状況で、色々な面で支えていただいている会員に、近況報告と特産品を送付するため追加するもの。

問 全体で何名の方に送るのか。また、次年度以降も継続するのか。

答 三つのふるさと会会員540名に、2500円の枝豆

など農産物詰め合せを予定している。

なお、来年度以降は未定である。



議会用語豆知識



指定管理者制度とは？

公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとする法人やその他の団体に包括的に代行させることができる制度。その目的は、多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図るもの。

保健衛生費

診療所建物改修工事
2879万6千円

診療所の新体制に向けた、建物内部の改修工事を実施するため追加するもの。

問 改修工事の概要と工事期間は、

答 診療室に壁と引き戸を設置、院長室を発熱外来に、医師室を点滴室に、器具室を面談室に、病棟の一部を会議室及び医局に、その他エアコン・換気扇・トイレ等の水回りなどを改修する。

なお、できるだけ休診を避けるよう6月頃を目途に実施する。

問 待合室を広げる検討はしているか。

答 壁の撤去等には限界があることから、新たに発熱外来を設置することで、当面現状のスペースとしたいが、今後、リハビリ室の活用なども検討したい。



診療所前には調剤薬局の建設が進んでいる

商工振興費

まちなかにぎわいづくり事業補助金
222万5千円

新規店舗整備事業に1件の申請が見込まれることから、補助金を増額するもの。

問 どのような業種が予定されているのか。

また、どのような方が申請されるのか。

答 村外から移住の方で、飲食業（コーヒーカフェ）となる。



村営住宅管理費

修繕費 277万円

冬期間の公営住宅修繕が見込まれるため増額するもの。

問 追加となる要因は、

答 今年度は、あけぼの団地・中札内団地の改修工事に伴い、仮入居した公営住宅の修繕が多く、冬期間に想定される暖房機等の修繕に対応するもの。

観光費

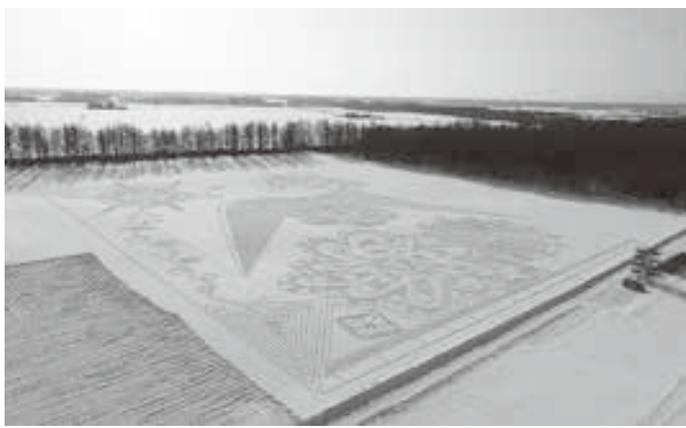
スノーアート事業補助金
400万円

昨年度に引き続き、観光協会が実施主体のスノーアート事業に、補助金を追加するもの。

問 昨年度の事業費との比較は。また、イベントの内容は。

答 北海道の地域づくり総合交付金を活用して、昨年度と同規模の事業費で考えている。

地域おこし協力隊の梶山智大さんのスノーアートを中心とした内容としたい。



2021年は2月13日(土)、14日(日)にイベント開催を予定している

学校管理費

中札内小学校備品購入費 505万6千円
上札内小学校備品購入費 54万円
中札内中学校備品購入費 266万9千円

国のGIGAスクール構想による、公立学校情報ネットワーク環境整備事業により、令和3年度に導入を予定していた、学校用コンピュータと充電保管庫を前倒しして、整備するため増額するもの。

公共下水道事業特別会計

浄化センター維持管理費

脱水污泥堆肥処理委託
409万6千円

下水道の水質悪化による汚泥の増加に伴い、業者への処理委託料を増額するもの。

問 民間業者へ変わってから高額となっているが、もう一度牧場で処理できないか相談しては。

答 牧場の人員体制や飼養方法も変わったことから、受け入れできない状況で、新年度に向けて他の処理業者を検討している。

村政のここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をたずさすことです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。

- ・ 質問者が一括質問方式、もしくは一問一答方式を選択します。
- ・ 1人につき90分の時間制限があります。
- ・ 原則として、通告書の提出順に質問します。



12月定例会では
3名の議員が
一般質問を
行いました



※議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約して掲載しています。

農家に対する コロナ対策について

北嶋議員 農協と連携した村独自の支援策を

森田村長 連携して持続可能な営農に努める

北嶋信昭議員

春先から農協は、コロナ対策給付金として組合員一戸に5万円、職員にも一人5万円を支給するほか、対策に最大の努力を図っています。

しかしながら村の対応は全く無く、非常に不満と疑問を感じています。

コロナウイルスの影響で農作物の動きは悪く、価格が下落しています。

このような時こそ、村が率先して「村と農協とが連絡を取り合い」、農協と連携して頑張ってもらいたいと強く思いますが、村長の考えをお聞きします。

森田村長

村では農業分野における新型コロナウイルス感染症の影響や対策について、国の対策を注視しつつ情報収集し、各



種支援制度が受けられるよう農協や北海道農政事務所帯広地方拠点と連携した取組みを行ってきたほか、6月以降は農協と協議を重ね、課題の把握に努めてきました。

この中で、豆類やイモ等の収穫時期の受入、選別作業に係る「密」の解消や、少人数でも安全で効率的な作業ができる体制づくりという課題提起を受け、豆の選別作業場への自動化機器導入を検討しています。

今後も農協や各種関係機関と現況や課題を共有し、農業者の皆様が持続可能な営農ができるよう努めていきます。



農協と連携して農業発展に努められることを希望

冬期間の国道236号と道道55号の交差点

中西議員 路面凍結の原因となる雑木の伐採を

森田村長 今期の積雪時の状況を把握し検討



中西千尋議員

国道236号と道道55号のT字路交差点における冬期間の除雪、排雪後の路面が雑木の日陰になる為、ブラックアイスバーン等の状態が続き、早朝や夕方の通勤・通学などに影響が出ていますが、村として対応策はどう考えられているのか伺います。

森田村長

ご指摘のT字路交差点については、圧雪アイスバーンやブラックアイスバーン状態になりやすいことを確認しており、管理者である北海道（帯広建設管理部）に対し、路面状況悪化の対応について安全対策を要請しており、北海道も巡回パトロールを強化して凍結防止剤や砂を散布するなど、対策を講じています。



通勤・通学においても危険となる路面凍結の早期解消を

今年3月に村としても日陰の要因となる本箇所雑木林の一部樹木の伐採と枝払いを実施しています。

今後も路面状況に合わせて安全対策を講じ、地域住民には、冬道の危険場所での早目のスピードダウンや安全運転の高揚を図り、日陰の要因となる雑木林の伐採等は、今後、積雪時の状況把握に努め、課題解決にむけた取り組みを関係機関と連携しながら考えていきます。

役場移転後の跡地・改善センターの活用

大和田議員 村民と一緒に考える体制づくりを

森田村長 意見交換を行い福祉サイドとも連携



大和田彰子議員

「キッチンスタジオ」を核とした村民（高齢者）が集える施設にする計画ですが、カントリープラザ調理室や「さつき荘」解体後の機能も移転する考えなのか。また、令和6年供用開始までの3年間、利用者にはどう対応していくのか伺います。

さらに、改善センターと別棟で建設するとの事ですが、高齢者が集える施設は調理室機能が不可欠で、一体で使用できるように検討すべきと考えます。

なお、関心ある村民も多いため、計画は協働のまちづくりの概念により、村民と一緒に考えていく体制を構築していただきたい。

森田村長

跡地利用は、「さつき荘」

も解体されることから、お年寄りや村民が気楽に集える施設にする方向でまとめていきます。

3年間カントリープラザ調理室機能が使えないことへの対応は、更別村の調理室を借りられるよう調整し、利用者にも説明しています。

コストの関係で「キッチンスタジオ」は木造別棟で考えており、完成までの間は既存給湯室も使用できますが、改善センターと一体で機能的に使えるよう検討します。

構想案策定は利用者と意見交換し、福祉サイドとも連携してまとめます。



住民意見を反映し多くの人に喜ばれる活用を

第4回 臨時議会

10月23日(金) 開会
 会期 1日
 審議案件 議案5件
 (原案可決)

条例改正

- ◆中札内村立診療所条例の一部改正
- ◆中札内村公園設置条例の一部改正

◆中札内村日高山脈山岳センター設置条例の一部改正

各施設を現行の委託方法や村が直接管理する以外に、指定管理者による実施を可能とするため、一部改正をするもの。

財産取得

◆新庁舎議場家具購入業務 1815万円

新庁舎議場で使用する机・椅子等を、6社による指名競争入札により、株式会社曾我から取得する売買契約を可決しました。

補正予算

※主なものを掲載

総務管理費

郵便料 213万4千円
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントの中止や学校休業等の通知が増加したことにより、郵便料を増額するもの。



保健衛生費

修繕料 146万6千円
 診療所北側の花壇を撤去し、更地にするため、追加するもの。

交通安全対策費

高齢者安全運転サポート補助金 109万円
 7月臨時会で補正したが、予算を上回る申請が見込まれることから、補助金を増額するもの。

教育総務費

山村留学協会負担金 5万円
 上札内小学校における山村留学を取り進めるにあたり、全国山村留学協会へ加入する負担金として、追加するもの。

次の定例会は3月です

主な内容は、一般質問と議案審議、令和3年度の予算審査となります。

インターネットによる議会中継を実施しています。

※議会中継はYouTubeで配信しています。

村のホームページ内「議会中継」のページからYouTube中札内村議会公式チャンネルにアクセスできます。



第5回 臨時議会

11月27日(金) 開会
 会期 1日
 審議案件 議案1件
 (原案可決)

条例改正

◆中札内村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

国家公務員の人事院勧告に伴う給与法改正案が、11月6日に閣議決定となったことを受け、国に準じて改正を行うもの。
 改正内容は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、民間とのポナスの支給割合を比較し、期末手当において、支給月数を0.05カ月分引き下げられるもので、議会議員・村長等特別職・一般職の期末手当を削減するもの。

※12月定例会の補正予算において、人件費の減額補正が可決されました。

Topic! 表紙の人

昨年11月20日に、中学校3年生による模擬議会が行なわれ、30名の生徒が6グループに分かれて、「ふるさと納税のこれからの活用方法及び高校通学費の対策」、「健康イベントの開催」、「各種検定料への助成」、「イベントの開催」、「新しい宿泊施設」、「通学路の交通安全」についての6つ政策提案や改善提案がされ、担当課長からその対応について答弁がされました。

生徒たちは、村長や議長・職員による事前勉強会などを経て、村や議会の仕組みを知り、政策や状況を調べて提案しました。質問に対する答弁書をもとに、再質問を準備し、さらには再び質問を議場で考え、活発な討議がされました。

村長はじめ「質問内容が素晴らしい」と講評もあり、まちづくりについて関心を持ち、理解を深める機会になったのではないだろうか。



再々質問についてグループで協議するすがた

村内合同所管事務調査

昨年10月16日に、札内川上流地域の状況と今年度実施した工事現場などの村内施設を調査しました。

★交流の杜道道取付道路 拡張工事

施設への進入口と道幅が2倍程度拡張され、大型車両の対面通行が可能となり、駐車場とのアクセスなど利便性が大幅に向上していった。

新型コロナウイルスの影響で、施設利用率が昨年と比較して8割減とのこと、今後、早期の収束と利用回復を期待するところです。

★新庁舎周辺歩道整備

新庁舎周辺道路は、車両の交通量も多く、通学路でもあることから、歩行者の安全を最優先して、冬期間の除雪を含めた適切な維持管理を望みます。

★公園施設改修 (鉄道記念公園トイレ)

改修したばかりで、男子トイレの手洗い場1ヶ所が故障しており、早急に修繕が必要です。

また、施設周辺は樹木が混み合っており、景観が悪いため、支障木の伐採と景観に映える「もみじ」を生かし、鉄道公園と一体的な管理が望まれます。

★消防庁舎増築・改修工事

団員詰め所となる現消防庁舎1階部分と、増築棟建築の進捗状況を確認しました。

増築棟の建設により堆雪スペースが無くなるため、冬期間の除雪・排雪作業について、適切な対応が望まれます。

★子育て世代包括支援センター(保健センター改修)

妊産婦や乳幼児をはじめとする、子育て家庭を対象とした、子育て世代包括支援センターが、保健センター内の一室を改修して整備されています。

支援センターは、子育て支援や少子化対策としての

重要な役割を持つていることから、対象者への周知徹底を図り、利用拡大を期待します。

★景観支障木伐採 (桜六花公園の桜)

桜の木の生育・管理状況を確認しましたが、風当たりの強い場所の成長が悪く、元気な木の管理が課題であり、今後は、植栽や防除に加え、土壌調査による有機肥料の施肥を行い、観光資源としての更なる活用が望まれます。

★札内川園地整備 (トレイラーハウス・レストハウス改修)

トレイラーハウスの外壁が、若干傷み始めているようなので、冬期間の管理の徹底と、レストハウス西側パーベキューハウスの屋根塗装が剥がれていることから、早めの改修と維持管理が望まれます。

★道々静内・中札内線 視察 (札内川上流地域)

昨年は冬期間の雪崩

や土砂崩れ等の被害が少なく、札内川ゲート奥のポロシリ覆道まで進入可能でした。

現地において、現道の維持管理や上札内橋架け替え工事の進捗状況について十勝総合振興局から説明を受けました。

道路管理には多額の費用を要しますが、関係市町村の水道水・発電用水・農業用水を供給する水源地であり、札内川上流地域の水質保全管理に不可欠な道路であるため、今後も適正に管理されるよう求めます。



札内川上流地域の現状と工事の進捗状況を確認

議員のひとこと

新型コロナウイルスにゆれた2020年、年が明けても終息が見えず我慢の日々が続く毎日である。1918年にスペイン風邪が流行し、2年余りパンデミック(世界的大流行)が猛威を振るったようであるが、当時はワクチンもなく結局3波に及ぶ感染拡大を経て、集団免疫の獲得で終息したようである。

我60数年の人生の中で、コロナウイルスという公衆衛生上の危機にさらされたのは初めてであり、マスク着用が当たり前になり、人との距離も考え、会う機会も減少した。会議・研修・行事・イベント等も中止、家族の帰省も自粛するなど、多くの方が人とのつながりが薄れたと感じた一年だったのではないだろうか。

昨年11月頃より第3波が拡大してきた頃、日本医師会の中川会長が「コロナに慣れないでください」「コロナを恐れてください」と会見で強く訴えていたのが耳に残る。1年以上毎日のように感染者数の報道を見ていると慣れて来るかもしれないが、このコロナウイルスをあまく見てはいけない。

牛歩のようにゆっくりと時間がかかるかもしれないが、安全なワクチンが接種され終息へ向かい、経済・社会活動が正常に戻ることを願うばかりである。(宮部 修一)